

2021年8月18日

祈祷会の皆様、

おはようございます！（夜の祈祷会の皆様、こんばんは！） 祈祷会の時間です！

【テーマ】「王の冠」

【聖書のみ言葉】 ゼカリヤ 6:9-15 を読みましょう。これまで学んできた第四の幻（3:1-10）と第五の幻（4:1-14）は、それぞれ大祭司ヨシュアとゼルバベル王についての幻でした。ここでは預言者ゼカリヤはこれら二つの幻を、大祭司であり王であるメシアと関連させています。

【解説】

ゼカリヤは主の託宣を伝えました（9-11）。神殿のために贈られた「銀と金」（エズラ 6:5）を用いて冠を作り、それを大祭司ヨシュアの頭にかぶらせなさい。この「冠」は祭司が頭にかぶるターバンではなく（3:5）、王が頭にかぶる華やかな冠のことです。通常、イスラエルでは、王と祭司の役職を一人の人が務めることはありませんでした。ですから、王の冠を大祭司の頭にかぶせるというこの託宣は、大祭司であり、王であるメシアが王座に就き、支配するという預言の完成を予示しています。

主は、預言者ゼカリヤを通して、このメシアがどのようなお方かであるかも伝えました（12-13）。この人は「若枝」と呼ばれ、自分のいるところから芽を出して、主の神殿を立て、主の威光を帯び、王座に就いて支配する。更には、この王は大祭司でもある。そして、このメシアのもとに、世界中から異邦人も集められ、主の神殿を共に建てる。

この預言は、「このときあなたがたは、万軍の主が私をあなたがたに遣わしたことを知る」とあるように、必ず成る（14）。だから、今、主のみ言葉に従いなさいと預言者ゼカリヤは民に勧めました。

【適用】

聖書はイエスこそが、ここで預言されている「若枝」であることを証しています（イザヤ 11:1；ローマ 15:12；黙示録 22:16）。私たちは、救い主イエス様を要の石とした、霊的な神殿である教会として、イエス様にあって、イエス様によって、私たちの内側から外側へ共に築き上げられ、聖霊によって神の住まいとなるのです（エペソ 2:20-22）。ですから、これからもイエス様のみ言葉に従って歩みましょう。

【祈り】 下記の祈りの課題を覚えて祈りましょう（主に、週報から）。その他にも個人的な祈りの課題があれば、祈りましょう。

ありがとうございました！ また来週、配信致します。

百合丘キリスト教会

川井信雄

（「祈祷会の時間です！」の受信をご希望の教会員の方には転送して下さい。その他、通常祈祷会に来て下さっている方にもどうぞ。その際、次回直接メールできるように、私にも CC して頂ければ感謝です。）